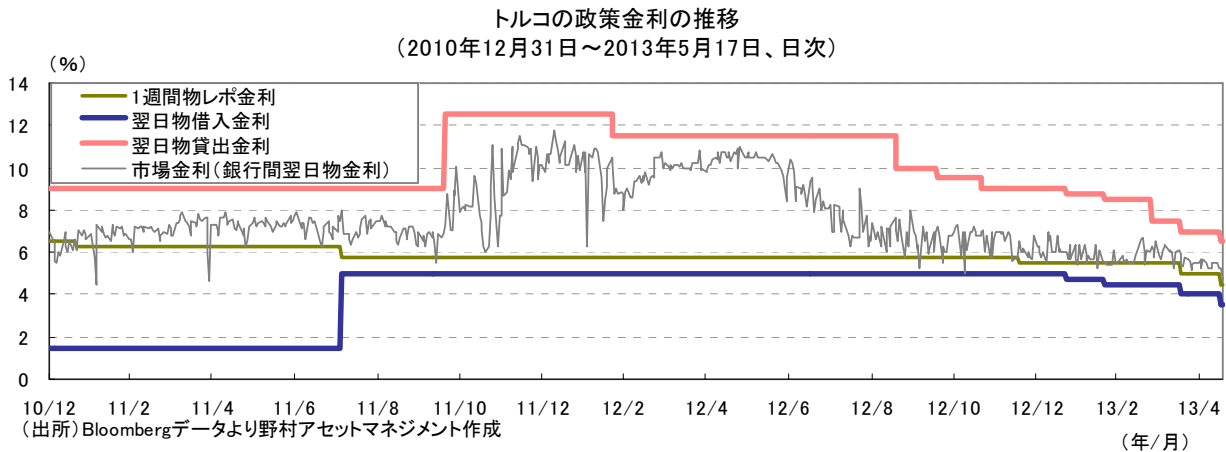


5月16日発表のトルコの金融政策およびムーディーズによる格上げについて

《トルコの金融政策》

トルコ中央銀行は5月16日の金融政策決定会合において、2会合連続で主要政策金利である1週間物レポ金利を0.5%引き下げ4.5%としました。市場では概ね0.25%の引き下げが予想されていましたが、市場予想よりも大きな引き下げ幅となりました。加えて、市場金利(銀行間翌日物金利)の下限となる翌日物借入金利および上限となる翌日物貸出金利を0.5%引き下げ、それぞれ年率3.5%、6.5%としました。

今回の措置は前回同様、国内景気の支援および海外からの資本流入拡大によるリラ上昇の阻止を狙ったものと見られます。4月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比+6.13%と2年ぶりの低い水準となっている中、3月の鉱工業生産指数は前年同月比+1.4%と低い伸びに留まりました。また、同中銀はリラの実質実効レートが120を超えれば利下げを検討すると発言していましたが、4月は121.10まで上昇していました。



《ムーディーズによる格上げ》

同じく5月16日、格付会社ムーディーズは、トルコの自国通貨建ておよび外貨建て長期債務格付を「Ba1」から1段階引き上げ、投資適格級とされる「Baa3」としました。見通しは「安定的」としました。

ムーディーズは格上げの主な背景として、トルコ経済および財政に改善が見られること、構造改革、制度改革の進展によって、国際的な資本移動によるショックへの脆弱性が徐々に低下していることを挙げています。

＜ムーディーズ発表のトルコの外貨建て長期債務格付＞(2013年5月16日現在)

	5月16日発表	5月16日発表以前	(参考) S&P	(参考) フィッチ
トルコ	<b>Baa3</b> (見通しは「安定的」)	Ba1	BB+ (見通しは「安定的」)	BBB- (見通しは「安定的」)

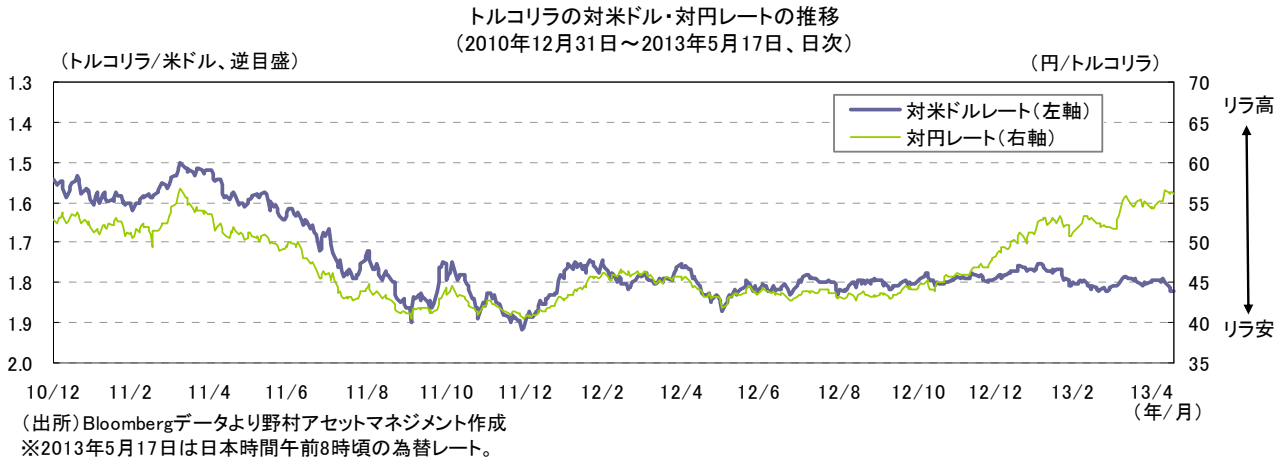
(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

《トルコリラの動向》

外国為替市場では、金融政策の発表とともにトルコリラ安となりましたが、ムーディーズの格上げ発表とともにトルコリラ高方向に転じました。5月17日8時頃(日本時間)、トルコリラの為替レートは、対円で前日比0.4%程度のトルコリラ安、対米ドルではほぼ変わらずとなりました。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。